

開 心
静 聴
充 満
献 身
奉 仕

日本クリスチャン・アシュラム連盟

秋季号

日本アシュラム

AUTUMN

1986

United Christian Ashrams of Japan

56

▼連盟は創始者の祈りによって各地に生れたファミリーの全国的な交わりであって、常に新しい家族(単位)の参加を期待している。



主によって堅く立て

深谷 教会 牧師

菊 地 い う

「あなたの神、主を信じなさい。そうすればあなたがたは堅く立つことができる。主の預言者を信じなさい。そうすれば成功するでしょう。」

(歴代志下二〇・二〇)

南ユダのヨシャパテ王は稀に見る主を畏れ敬虔な王でした。彼は国を護る為にユダやエフライムの重要な地に守備隊を置き外敵侵入に備え、先祖ダビテの教訓を忠実にまもると共に、国民にもバアル信仰を捨て、主なる神に仕えさせたので、主はヨシャパテ王と共におられたと記されており、主に従う者の上に主の祝福は溢れるばかり注がれて多くの富と国力が増し平和な生活が続けられていました。兼ねて要心していたアブ、アンモン、メウニの三国が同盟を結び戦闘を開始して来ました。ヨシャパテ王はこの困難にはどう計算しても方に一つの勝算の見込みもなく、すでに大軍はエンゲデまで迫っているとの通報です。万事窮した最悪の事態が迫っています。その時、ヨシャパテ王は恐れ、主に顔を向けて助けを求め、ユダ全国に断食をふれ、全国民が一つ思い一つ心と

なつて『この大軍をあなたの民イスラエルから追い払って下さい』と熱禱を捧げた時、レビ人やハジエルを通して神は『この大軍のために恐れてはならない、おののいてはならない。これはあなた方の戦ではなく主の戦である、あなた方と共におられる主の勝利を見る事ができる。』と言われ、王を始め一同がこの主の言葉を受け入れた時、祈りは讚美と感謝のどよめきになりました。翌朝ヨシャパテ王は表題のみ言葉を以って主の祝福を再確認し、勇んで讚美しつつ、前進した時、主の戦の驚ろくべき大勝を見たのです。私共もどんな時にも主に顔を向け従いぬく時悩みが感謝に、失望が希望に変えられることを知るのであります。廿四年前当教会が現在地に移転の時余り賛成者はありませんでした。それは地理的に片寄りすぎていて人の集りにくい所であること、しかし移転地は二五〇坪を信徒が献納し跡地売却金で会堂が建てられると言う好条件でした。この提案者は終戦以来父と親交のあった東京桜台教会小林吉保牧師で、師は関西で八ヶ所の教会、幼

稚園を建築されたその道のベテランでした。或時先生は私に『あなたはこの移転問題をどう考えていますか。あなたには居住権がありますから否と云えば誰が何と言っても不可能なんです。ですからよく考えて下さい。』『先生、私共親子は今日まで無賃で住まわせて戴きました。父が召され教職を去る時には私共は他に移ります。』当時私は小学校に勤務しておりました。協議の未移転に決定、一〇〇万円の献金が捧げられて、元の家を解体古材を使用して集会所と牧師館が卅六年十二月竣工。私は二年後に卅六年間の教員を退職し、専ら老令となった父の伝道の助手として奉仕することになりました。その五月から待望の新会堂建築工事が始まり、同十月竣工まで移転、会堂建築認可、登記事務等を学ぶ時が与えられました。その後幼稚園設置、補教師、正教師の資格取得等めまぐるしい中にも四人の子供達の子育てが一段落し母の責任が一応終って、第二の人生を主に励まされ助けられ、伝道に邁進してきたところ、この度は総工費一億二千万円の鉄筋二階建礼拝堂一八二席総面積一〇〇坪の新会堂が与えられました。これこそ『主を信じなさい、そうすれば堅く立つ。その預言者を信じなさい、そうすれば成功する』とのみ言葉のように、私共は奇跡の教会として活ける主のみ旨に従うべく祈っております。

編集人 海老沢 宣道
発行人 大石 嗣郎
定価 一部60円 千60円

スタンレー・ジョーンズの名著 「インド途上のキリスト」

に学ぶ
渕江 淳 一

私の恩師金井為一郎先生の翻訳出版された、「印度途上のキリスト」が、絶版となって既に久しいので、ぜひ多くの人々に読んでもらいたいとの念願から新たに訳出、出版の運びとなったことは私の最も光榮とするところだ。

この訳業を通じて教えられたことは甚だ多く、すべてがアシュラムを支えている基盤と心得ますので、その一端を書き止めご参考に供します。

初め博士は他の宣教師と同様に、教会史と西段文明を背景に、伝道をしたが、キリスト教団の殖民地政策下に苦しんでいたインド人から激しい反撥を受けた。博士は最高の神学教育を身につけインド伝道の使命にもえていたため、ひどい神経症となり医師から帰国をすすめられていた。彼はラクノウの教会で祈っていたとき主の臨在に接し、すべての思い煩いを主イエスに明渡して、遂に全き平安が与えられ、以来「キリストのみ」を宣べ伝える伝道者となった。そうなるまで彼を怪しげな宗教の信奉者しか見ていなかったヒンズー教徒達は、その深い霊的哲学的洞察から、自分達に欠けてい

るものはたゞ「生けるキリスト」であることを悟り、有力者達が進んで協力、博士の講演会を司会し、公民館やヒンズー教寺院までも会場に提供し、人を集めるようになった。

他宗教に対処する方法には従来次の三つがあった。

- ① 他宗教の弱点を攻撃、自分の宗教を他宗教の廃墟の上に立てる方法。
- ② キリスト教がいかに古来よりの宗教を完成するかを示す方法。
- ③ 凡ての人に興味ある一般的テーマから出発、福音の使信に終る方法。

スタンレーは②の方法に加え大衆伝道者として③を用い、特にキリストの人格とその統一性を強調した。

彼はタゴールの言を引用して、「宣教師達が彼等の真理を異国に持ち込む場合、その国に対して尊敬のない限り、その真理は受容れられない。」マハトマ・ガンダーは、どうしたらキリスト教がインドに土着するかと聞かれた時、「まずあなたがたすべてのキリスト教徒が、イエス・キリストのように生活することです」と答えた。われわれがなそうとしている宣教活動も、徒に民族精神を逆なですることなく、悔い改めの深い意識をもってこれに当たらなければならぬ。

とを認め、これに留う謙虚さでクリスチャン・アシュラムの運動を起した。それはあくまでキリスト中心であったことはいうまでもない。

博士はいう、「変貌山上において律法を代表するモーセと、予言者を代表するエリヤが、新しい啓示者イエスと語った。ペテロのユダヤ的精神はこれら三人を同等の平面に留めようと願った。——彼は三人のため三つの幕屋を建てることを望んだ。その時雲から声が響いた。『これはわたしの愛する子である。これに聞け。』——律法と予言者はイエスにおいて完成された。彼に聞け。そして彼等が目をあげた時、彼等はたゞイエスのほか何者をも見なかった。イエスが彼等の地平線を充たした。彼はわれわれのそれをも充たさねばならない。」と。アシュラムをただ「神秘主義」の一語を以って葬り去ろうとする者は、イエスとその完成された救の業だけが、唯一最大の神の神秘であり奇蹟であることを知らねばならない。

私は訳者として多くを学び、感謝を以て次のように後記に書きました。「ともあれ、欧米のキリスト信者数とそれ以外の地域の信者数とが同等となった今日、福音がいかに異教地域にその本質を変えずに土着すべきかという問題に直面しているこの時、その宣教の闘いの中から従来如き

欧米型神学に代って、異教をも蔑視差別することなく、イエス・キリストの十字架・復活の贖罪愛のもとに抱擁同化するべき「宗教の神学」の理想を、スタンレー・ジョーンズ博士はインドにおいて既に解決済であることに、驚嘆せざるを得ないのである。

『インド途上のキリスト』は、インド独立以前の昔に書かれたものとはいえ、現在も最も新しくまた重大な神学的問題に応えるところの世界伝道の指標の役割を果すものであることを再確認できることは極めて幸いである。」

◎新刊

世界的ベスト・セラーになった
博士処女作の改訂版
スタンレー・ジョーンズ著
金井 為一郎先生 元訳
渕江 淳一 先生 新訳

インド途上のキリスト

新装B6判二五〇頁
価千九百円 千二五〇円
この度日本アシュラム三十年を記念して新訳
日本アシュラム連盟事務局
ぜひ御愛読を！

アシュラムの五大原則

- (一) キリストへの明渡し
- (二) 御言への静聴と立証

『イエスは主である』

(ロマ書十章九節)

好評・再版出来
海老沢宣道著
「アシュラムの原則と実際」
新書判52頁

アシュラムの原典 「インド途上のキリスト」の 出版を祝す

海老沢 宣道

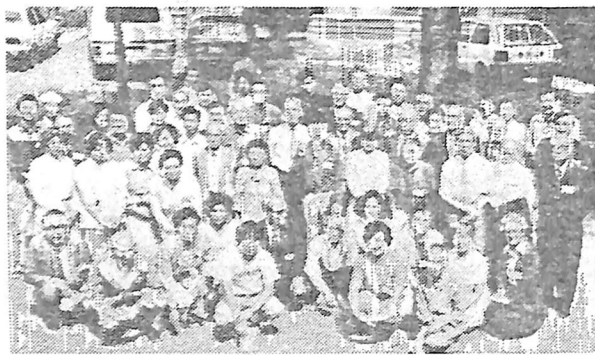
昭和二四年にスタンレー・ジョーンズが初めて来日、全国を伝道巡回して下さるに当り、金井為一郎先生が訳出され、多くの読者に感銘を与えた本書は、忽ち売切れとなりまして、この度、渕江兄が新訳されたことを心から喜ぶ者です。それはキリスト教の中心点、否キリスト御自身を知るために、是非とも読むべきものだからです。

書名は『インド途上のキリスト』となつていますが、それは著者スタンレーが若い米国の宣教師として初めてインドに渡り、英国の国威を背景にして西段文化の優越感の下に民衆教化を計ろうとしていた当時の教会の功罪に気づき、キリスト教革新の必要に目覚め、主イエスとの関係を正すことを使命と感じ、熱情をこめて執筆したものです。

更に福音宣教の目的は神の国の実現であり、それは制度的な教会の範囲を超えて現われつゝあることを見ています。一つはガンジーの人格と運動であり非キリスト教徒との交わりの中に及びつゝあることを見たのです。そこでは西歐的な教会とキリストとを切離すことによつて、イン

ド人にも主イエスを受入れることができる事実がありました。平和の君に服従してはいない教会に、インド人を招くことはできないのです。全ての人を受容する主イエスを彼らは歓迎するのです。組織に捉われない自由の人イエスの愛を喜んでいきます。私の第一に求むべきものは『神の国とその義』であります。

インドの青年たちから多くの質問を受けながら、著者はキリスト教を論ずるよりも、霊的に静かな状況に入らねば理解されないこと、宇宙の中心へと究極的に追求して行くとき、そこで主イエスに出会うことを発見



- (三) 聖霊の啓導と充滿
- (四) 神の国の体験と献身
- (五) 教会への奉仕と伝道

したので。そして初代信徒の如く、史上のイエスを現在経験のキリストとして、主と共に証し人として生きる所に意義があることを力説しています。聖書を改めて読み直し、聖霊の降臨を体験する必要を述べ、教派を伝道してはならないこと、信仰とは神学でもキリスト論でもドグマでもなく、誰を信じているかの状態を言うのです。

イエスは他宗教を破壊するためではなく、成就するために来られたと説いています。イエスは神のうちに生き、神をうちに宿しておられる神秘家でした。と同時に極めて具体的に人々の生活の中に恵みをもちこまれたお方です。議論や解説、研究や説教でなく、実際の医しと救いをもたらした実践的神秘家として主を捉えています。

新教の各派は余りに個人的救いの方に偏向して、主イエスの普遍性を見失っていることを忠告し、主は罪を贖なう十字架につかれた過去の働きに留らず、現在、私たちに送られている神の賜物であり、今の私を捕えている現代人であることを見ておられます。クリスチャンに問題が起るのには、教会の制度や組織に関するものが多く、主イエスに就いての問題はないことを見ても、アシュラムの原則にある『イエスを主と仰ぎ、一切の垣根を超えて、神の子として

価三百円 千七百円
スタンレー博士に親しく指導を受けた著者がアシュラムの五大原則と守り方を平易に解説。

の交わり(コイノニア)を生活体験すること』が私共にとって不可欠であると思います。以上、本書の要点を略記して見た時、これはスタンレーが後に創始されたアシュラムの原典であることに気づきました。改めてアシュラム同志の愛読をお勧めする次第であります。

スタンレー・ジョーンズ博士の遺書

神の然り

B6判 220頁
定価 1,200円 送料 250円

<キリストに明け渡した人生>
海老沢 宣道 訳

日本を愛し、戦後十回の伝道を終え帰米後卒中に倒れ、死を目前にして信仰の勝利を体験した名著。

発行所 日本クリスチャン・アシュラム連盟

各地のニュース

◆ 計報 ◆

◎谷本清師(連盟理事、中国地区委員長)は九月二十八日早朝、肺炎のため広島大病院で逝去された。被爆者として同患者の救済と平和運動のため生涯を献げられ、スタンレーと共に、アシュラム運動にも尽力、今年一月に第六回国際アシュラム(米国ジョージア州)に日本代表として夫人と共に参加、私共と共に奉仕されたばかりであった。謹み哀悼。

◆ 集会 報告 ◆

◎台湾長老教会引退牧師夫妻修養会 九月十日より二泊三日、新竹市聖書学院にて、六五名出席、海老沢宣道理事長夫妻参加、アシュラムに就て語り、靈交を深めた。

◎台北艦艇教会 九月十四日の朝拜に招かれ、海老沢理事長は『耶穌是主』と題してアシュラム信仰を二五〇名の会衆に宣教した。

◎九州地区アシュラム(第21回)

九月十五日、一泊二日例年の福岡女学院八木山研修寮で、助言者として長住教会の斎藤剛毅師を迎えて開催した。北九州と福岡の両市で準備のミニ・アシュラムを開いた結果、三十一名の参加があり内容的にも恵みに溢れたことを感謝。来年は各自一名の隣友を誘って参加

することを約束した。

◎関東地区アシュラム(第24回)

九月二十二日二泊三日間、例年の奥多摩古里の美しい自然の中にある福音の家で、助言者として新潟アシュラムの指導者、栃尾教会の酒井春雄師を迎え、福音の時に体験を通して感銘深い奨励を受けた。礼拝は湖江、開心は海老沢、労作は草村、証しは岡田、静聴は棚田、充滿献身の時は神山の各委員が奉仕し、七〇名の参加者一同神の国の靈交を深め、救いの喜びに満たされて散会した。

◎関西地区アシュラム(第20回)

十月九日、十日一泊二日千里山のシオンロッジで、辻中実行委員長その他委員一同が奉仕分担して開催。

◎東北地区アシュラム(第八回)

十月十日(金)一日福島教会(芦名直道牧師)を会場に、連盟から海老沢、湖江、大石の三氏を助言者として迎え、主題『イエスは主なり』の下に開催、恵みに溢れた。

◎教職ミニ・アシュラム(第25回)

十月十四日(火)午前十時半より埼玉県深谷市西島九八三、深谷教会(菊地いう牧師)において開催、まず自ら碎かれ、整えられたいと願う牧師たちの集いとなるように。

◎石神井アシュラム(第五回)

十月十九日(日)朝拝から石神井バプテスト教会(米田勇師)で、海老沢、湖江両師を助言者として迎え、

ピリビ書と出エジプト記を静聴して靈化を求めて祈る黙想の時。

◎札幌地区アシュラム(第七回)

十一月二、三日一泊二日間、北海道クリスチャン・センターを会場に主題はヨハネ福音書十五章八節。講師に大阪府立大学教授野竜氏を迎えて開く。申込は札幌中央教会の平田久牧師まで。

◆ 理事会の新陣容

連盟は各地区委員会と有志からの全く任意的な献金によって、事務を処理しているため、近年は理事会を定期に開くことができませんでした。そこで今年には理事の選挙を経費節約上やむなく通信投票により左記の如く決定いたしましたので報告申し上げます。皆様の御加禱を!

理事長	海老沢宣道(江古田)
副理事長	中路 嶋雄(扇町)
総務	大石 嗣郎(碑文谷)
書記	湖江 淳一(祖師谷)
常任	山根 可弑(池ノ上)
"	岡田 実(新宿西)
"	後宮 俊夫(世光)
"	井本富三郎(東京中央)
"	林 勝義(大阪桃谷)
"	鈴木 留蔵(習志野)
東北地区	村上 束(郡山)
関東地区	向山 自助(安行)
関西地区	辻中 照一(扇町)
四国地区	河野 修(松山山越)

九州地区 川野 直人(田限)
◎友好団体 加藤 亨(札幌バプ) 新潟地区 酒井 春雄(栃尾)

◆ 賛助献金感謝

前文に記したように連盟は維持会員を持たないことにしていますので全くの御好意によつています。今期も前号(55号)報告以後に左の方々の尊い献金を頂き、心より感謝申し上げます。 総務 大石 嗣郎 井本富三郎(東京中央) 一万円 大石 嗣郎(碑文谷) 一万円 湖江 淳一(祖師谷) 一万円 谷本 清(広島) 五千元 飯島 紀子(池ノ上) 五千元 小計 四万円 累計 六九六、六〇〇円

アシュラム生活の最良の友
アパ・ルーム
(年6回刊行の日々の糧)
国際的、超教派的、靈的な読物
価 200円 70円、年1,620円
発行所(256)小田原市国府津3-11
振替口座(東京)1-193834 アパ・ルーム
日本語版は創刊以来36年続行中

▼アシュラムとは故スタンレー・ジョーンズ博士がインドの退修方式を取り入れて創始されたキリスト教の祈し、祈禱生活運動である。

東京都目黒区中央町1-21-10 碑文谷教会発行